

# 令和7年度 昭島市立昭和中学校 学校経営方針

令和7年4月1日  
校長 渡部 尚

<h2>1 教育目標</h2> <h3>夢への挑戦</h3> <p>～ 広げよう可能性 高めよう創造性～</p> <h2>2 教育理念</h2> <h3>ハートフル・昭和</h3> <p>～ 全ての教育活動をハートフルに！～</p>	<h2>3 目指す学校像</h2> <p>(1) 知・徳・体をバランスよく育む学校 (2) 人間環境・生活環境が整った安心・安全な学校 (3) 元氣な挨拶や歌声が響く活氣ある学校 (4) 家庭・地域とのつながりを大切にしている学校</p> <h2>4 目指す生徒像</h2> <p>(1) 自ら考え深く学ぶ生徒 (2) 自他ともに大切にできる生徒 (3) 自分を表現しつつ互いに認め合える生徒 (4) 社会性が身につけている生徒</p> <h2>5 目指す教師像</h2> <p>(1) 豊かな人間性を備え、生徒の範となれる教師 (2) 生徒と正面から向き合い、信頼される教師 (3) 授業力が高い教師 (4) 組織の一員として学校運営に貢献できる教師</p> <h2>6 令和7年度重視する取組</h2> <p>(1) 「勇気づけ言葉」の活用 ・ 「頑張らせ、勇気づけ、ほめる」ことでもまわす (2) 「表現し合う活動」の一層の活発化 ・ 教育活動全てで活発な表現と認め合いを重視 (3) 「できて、わかって、楽しい」授業づくり ・ 授業スタンダードに沿った指導の実施 ・ ICTを活用した効果的な指導の工夫 (4) 「管理」と「自治」のバランスを重視 ・ 指導の枠組みの明確化と共通理解 (5) 「環境美化」の徹底 ・ UDの視点に基づいた環境整備と維持 (6) 「未然防止」への意識向上 ・ いじめ・不登校・事故等の未然防止に注力</p>
--	--

<h2>基本方針</h2>	<h3>【学習指導】</h3> <p>1 生徒が「できて、わかって、楽しい」と感じる授業を行う。 2 個別適応学習を意識した指導の推進。 3 「思考力」「判断力」「読解力」等を育成する授業を行う。 4 「自ら学び」「自ら考える」力を育成する。 5 読書活動を推進する。</p> <h3>【生活指導】</h3> <p>1 全ての生徒が伸び伸びと生活できる環境をつくる。 2 生徒の自主的な活動から主体性を育む。 3 管理と自治の適切なバランスを保ちながら社会性を育む。 4 きれいな環境をつくり、維持する。</p> <h3>【道徳教育】【人権教育】</h3> <p>1 生徒の生き方や感性に働きかける道徳教育を推進する。 2 自他ともに大切にすることを認め、尊重される教育活動を推進する。</p> <h3>【いじめ防止の指導】【命を大切にする指導】</h3> <p>1 いじめの未然防止と起こった時の早期対応を徹底する。 2 命を大切にすることを指導を推進する。</p> <h3>【特別支援教育】【不登校対応】【教育相談】</h3> <p>1 特別支援学習（1組）の生徒が成長を実感する取組を推進する。 2 生徒の特性や課題的背景に基づいた組織対応を推進する。 3 不登校を生まない取組を推進する。 4 不登校生徒への適切なかわりを推進する。</p> <h3>【安全指導】【体育指導】【保健・食育指導】</h3> <p>1 安全の知識を基に適切な行動が取れるようにする。 2 体力の向上と健康の保持・増進についての主体性を育む。 3 疾病や事故などの予防に係る対応と指導を徹底する。 4 万全なアレルギー対応による事故防止に努める。 5 栄養と健康についての理解を深める。</p> <h3>【キャリア教育】【進路指導】</h3> <p>1 3年間の系譜だった生き方指導を行い、学習の成果を発表する。 2 個に応じた丁寧な進路指導を実施する。</p> <h3>【学校行事】【部活動】</h3> <p>1 自治的で成長につながる学校行事・部活動を実施する。</p> <h3>【家庭・地域との連携】【開かれた学校づくり】</h3> <p>1 家庭・地域とつながった教育活動を推進する。 2 小・中・高、福祉施設との連携を推進する。</p> <p>○ 校内研修・・・情報活用能力研究指定校（R6・R7）として、日常的にタブレット端末の活用を工夫し、管理や使用上の注意点などの徹底を図る。 ○ ICT・・・タブレット端末の活用について、アプリケーションの活用を工夫すると共に、管理や使用上の注意点などの徹底を図る。 ○ 英語関連・・・公表による英語検定、英語スピーキングテスト（E-SAT）、英語実践活動などの取組を英語科だけでなく学校全体で取り組む。</p>	<h2>取組</h2> <p>1-① 有構的に戻るPDCAサイクルの実施。 2-① 校内OJTの意図的・計画的な実施。 3-① 机上及び公共スペースの整理整頓。 2-② 事故やハラスメントの理解に向けた研修の実施。 4-① 仕事効率化による超過勤務時間の削減。</p>
<h2>取組の細目</h2>	<p>1-① 毎時間のねらいや見通しを示した授業実践。 2-② 年中授業スタンダードを定着。 3-③ 生徒授業評価アンケートの実施。 4-④ 可能な範囲での個別対応の推進。 3-① 協働的な学びを意図した課題解決型の授業実践。 2-② 授業での効果的・積極的なICT活用。 4-① シンパースを活用した家庭学習の推進。 5-① 授業後の朝読書の定着。</p> <p>1-① 挨拶の励行。 2-② 「勇気づけ言葉」の活用。 3-① 教職員同士、生徒間で生活のルールを話し合い・確認・徹底。 2-② 生徒の相談しやすい言葉遣い、態度等の指導徹底。 3-③ 集会時・集会後の移動時の規律の徹底・維持。 4-① UDの視点での教室環境等の整理・整頓と維持。</p> <p>1-① 22項目の計画の実施。 2-② 保護者・地域と連携した道徳授業地区公開講座の実施。 2-① 他者との違いを受け入れる指導の共通実践。</p> <p>1-① 生活（いじめ）アンケートの毎月の実施。 2-② SNSの使い方の指導（4月・安全指導集会）の実施。 2-① ハートフル教室（命を大切に）の実施。</p> <p>1-① 1組と通常学級の適切な交流（コミュニティ）の推進。 2-① 1組のリーダー育成を通じた自治的な活動の支援。 2-② 特別支援学習やSC・外部機関と連携した対応の推進。 2-③ 母子生活支援施設や児童養護施設との連携。 3-① 校内委員会での委員の欠席状況等の確認。 4-① 家庭との連携と校内の生徒体制の充実。</p> <p>1-① 安全指導集会及び質の高い進路指導と安全指導の実施。 2-② 保健体育科の授業の内容、質の向上。 3-① 感染症の防止や怪我・熱中症の防止などの指導の実施。 4-① 外部人材を活用した主体的な学習や部活動の実施。 4-① アレキキ対応が必要な生徒の支援・共有の徹底。 5-① 学校栄養士を活用した食育の実施。</p> <p>1-① 計画的で効果的なキャリア教育の実施。 2-② 総合学習発表会の開催。 3-③ 外部人材を活用した主体的な学習や部活動の実施。 2-① 進路指導における丁寧な全体指導と個に応じた指導。</p> <p>1-① リーダーを育て、生徒の主体性を重視した活動の実施。 2-② 外部人材を活用した効果的な活動の実施。</p> <p>1-① 学校運営協議会の意見を取り入れた学校運営の実施。 2-② PTAと連携した活動の推進。 3-③ PTAと連携した活動の推進。 2-① 授業や部活動での生徒・教員の積極的な交流の実現。</p>	<h2>取組の詳細</h2> <p>1-① 毎時間、「目標」「流れ」「振り返り」を明示した授業を展開する。 2-② 定期的なチャート発表を実施し、学校全体の取組として授業実践の定着を図る。 3-③ 可能な範囲で「流れ」「振り返り」の生徒授業評価アンケートを活用し、改善を図る。 3-① 考え方や学習の様子を話し合い活動につなげる授業を行う。 2-② 様々なアプリケーションを活用し、情報活用能力を高めた学びの可能性を追求する。 4-① 定期テスト前などにシンパースに書かれた学習方法を研究させて自主的・計画的に取り組ませる。 5-① 図書支援員、司書教諭、図書委員会と連携して全校共通の取組を行う。</p> <p>1-① 教師自ら積極的に挨拶を行い、生徒から教師も活発に行えるようにする。 2-② 否定的な言葉を使わず、日常すべての場面で「勇気づけ言葉」を意識し、活用する。 3-① 生徒会本部・各委員会生徒、及び学級委員単位でのアイデアが生まれる活動を推進する。 2-② 年度初めに生徒・保護者・教職員それぞれに、学校生活のルールや対応についての共有を図る。 2-③ 不適切な言葉（発言）や態度に対しては下向きに厳然と対応し、家庭の協力を得ながら指導する。 3-③ 学年・全校問わず、集会時には全教員が役割をこなし、移動開始から終了まで整然と行われる。 4-① 教室・廊下、下駄箱などの整理整頓と清掃を重視し、きれいな状態を1日を終わる。 4-① 道徳担当が年間指導計画を作成し、進捗をコントロールする。 4-① 原則として毎週、話し合い活動中心の道徳授業を実施する。 2-② より保護者や地域の方々とも考える機会を工夫し、設定する。</p> <p>1-① 実態を把握して毎週、いじめ対策委員会と共有し、早期対応に当たる。 2-② SNS上でのいじめの防止と発生時の対応等を実施し、トラブルの未然防止に努める。 2-① 長期休業前に実施し、命の大切さを伝える。</p> <p>1-① 個に応じた授業参加や、体育祭・音楽祭等の行事での交流を適宜実施する。 2-② あらゆる活動で3年生リーダーとして活躍の場を創出し、1・2年の範とさせる。 2-① 校内委員会にてコア・リーダーが生徒の情報を確実に集約し、共有して対応する。 4-① 警察・児童相談所・子ども家庭支援センター・S・S Wとの連携を密にして対応に当たる。 3-① 各学年の担当が委員会の状況を報告し、校内委員会と協議して早期対応を行う。 4-① 1週間に1回程度は定期連絡を取り、生徒の笑顔に応じてサポートチームを活用する。</p> <p>1-① 4月に生活安全・交通安全・災害安全の3領域についての基礎知識の指導を行う。 2-② 地震・火災・不審者対応など、あらゆる想定の下で質の高い訓練を実施する。 2-① 元氣アッププログラムを活用し、体力の向上と健康を関連付けた授業を実施する。 3-① 感染症・怪我・熱中症など、教育活動下での危険拡大防止や事故防止の徹底を図る。 4-① アレキキ対応が必要な生徒を毎月活動し、絶対に事故を起こさないようにする。 5-① 栄養士の協力を得た食育指導を適宜実施する。</p> <p>1-① 「職業調べ」「職業講話」「職場訪問」など、3年間の系譜だった指導を実施する。 2-② 職業の成果を発表するにも、夢を描き、夢を語る会にし、地域・保護者に公開する。 3-③ 細やかな準備の準備・指導が行き届いた職場体験学習（2年生）を実施する。 2-① 上級学校の受入れ（像）に向け、便り等を用いた個やかな情報提供を行う。</p> <p>1-① 管理と自治を意識しつつ、生徒が主体的に取り組むようサポートする。 2-② 外部人材を活用し、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>1-① 学校行事や授業を公開し、日々の取組に基づき外部評価を学校経営に生かす。 2-② 学校ホームページ、学校だより、メッセー性のある内容を工夫して発信する。 3-③ 保護者会（4月）で学校ダイジェストを配布し、保護者との共有を図る。 2-④ 地域性を活かし、小学校だけでなく、昭和高校との交流をより行っていく。</p>
<h2>目指す教職員組織</h2>	<p>1 あたからや周囲の雰囲気の中、助け合える組織。 2 仕事にやりがいを感じ、成長できる組織。 3 事故やハラスメントが起こらない組織。 4 ライフ・ワーク・バランスが図られた組織。</p>	<h2>取組の細目</h2> <p>1-① 学年会を概ね週に1回程度実施し、各クラスの生徒の様子や総合的な学習の時間、道徳、生活、学年行事などの共有を図る。 2-① 3年次までの教員に、教科・分掌ごとに指導教員をつけて育成を図る。 3-② 年間3回の服務事故防止研修を実施するとともに、特に「体罰」「不適切な言動」「紛失事故」を根絶する風土をつくる。</p>

<h2>確かな学力</h2>	<p>1-① 毎時間のねらいや見通しを示した授業実践。 2-② 年中授業スタンダードを定着。 3-③ 生徒授業評価アンケートの実施。 4-④ 可能な範囲での個別対応の推進。 3-① 協働的な学びを意図した課題解決型の授業実践。 2-② 授業での効果的・積極的なICT活用。 4-① シンパースを活用した家庭学習の推進。 5-① 授業後の朝読書の定着。</p> <p>1-① 挨拶の励行。 2-② 「勇気づけ言葉」の活用。 3-① 教職員同士、生徒間で生活のルールを話し合い・確認・徹底。 2-② 生徒の相談しやすい言葉遣い、態度等の指導徹底。 3-③ 集会時・集会後の移動時の規律の徹底・維持。 4-① UDの視点での教室環境等の整理・整頓と維持。</p> <p>1-① 22項目の計画の実施。 2-② 保護者・地域と連携した道徳授業地区公開講座の実施。 2-① 他者との違いを受け入れる指導の共通実践。</p> <p>1-① 生活（いじめ）アンケートの毎月の実施。 2-② SNSの使い方の指導（4月・安全指導集会）の実施。 2-① ハートフル教室（命を大切に）の実施。</p> <p>1-① 1組と通常学級の適切な交流（コミュニティ）の推進。 2-① 1組のリーダー育成を通じた自治的な活動の支援。 2-② 特別支援学習やSC・外部機関と連携した対応の推進。 2-③ 母子生活支援施設や児童養護施設との連携。 3-① 校内委員会での委員の欠席状況等の確認。 4-① 家庭との連携と校内の生徒体制の充実。</p> <p>1-① 安全指導集会及び質の高い進路指導と安全指導の実施。 2-② 保健体育科の授業の内容、質の向上。 3-① 感染症の防止や怪我・熱中症の防止などの指導の実施。 4-① 外部人材を活用した主体的な学習や部活動の実施。 4-① アレキキ対応が必要な生徒の支援・共有の徹底。 5-① 学校栄養士を活用した食育の実施。</p> <p>1-① 計画的で効果的なキャリア教育の実施。 2-② 総合学習発表会の開催。 3-③ 外部人材を活用した主体的な学習や部活動の実施。 2-① 進路指導における丁寧な全体指導と個に応じた指導。</p> <p>1-① リーダーを育て、生徒の主体性を重視した活動の実施。 2-② 外部人材を活用した効果的な活動の実施。</p> <p>1-① 学校運営協議会の意見を取り入れた学校運営の実施。 2-② PTAと連携した活動の推進。 3-③ PTAと連携した活動の推進。 2-① 授業や部活動での生徒・教員の積極的な交流の実現。</p>	<h2>取組の細目</h2> <p>1-① 毎時間、「目標」「流れ」「振り返り」を明示した授業を展開する。 2-② 定期的なチャート発表を実施し、学校全体の取組として授業実践の定着を図る。 3-③ 可能な範囲で「流れ」「振り返り」の生徒授業評価アンケートを活用し、改善を図る。 3-① 考え方や学習の様子を話し合い活動につなげる授業を行う。 2-② 様々なアプリケーションを活用し、情報活用能力を高めた学びの可能性を追求する。 4-① 定期テスト前などにシンパースに書かれた学習方法を研究させて自主的・計画的に取り組ませる。 5-① 図書支援員、司書教諭、図書委員会と連携して全校共通の取組を行う。</p> <p>1-① 教師自ら積極的に挨拶を行い、生徒から教師も活発に行えるようにする。 2-② 否定的な言葉を使わず、日常すべての場面で「勇気づけ言葉」を意識し、活用する。 3-① 生徒会本部・各委員会生徒、及び学級委員単位でのアイデアが生まれる活動を推進する。 2-② 年度初めに生徒・保護者・教職員それぞれに、学校生活のルールや対応についての共有を図る。 2-③ 不適切な言葉（発言）や態度に対しては下向きに厳然と対応し、家庭の協力を得ながら指導する。 3-③ 学年・全校問わず、集会時には全教員が役割をこなし、移動開始から終了まで整然と行われる。 4-① 教室・廊下、下駄箱などの整理整頓と清掃を重視し、きれいな状態を1日を終わる。 4-① 道徳担当が年間指導計画を作成し、進捗をコントロールする。 4-① 原則として毎週、話し合い活動中心の道徳授業を実施する。 2-② より保護者や地域の方々とも考える機会を工夫し、設定する。</p> <p>1-① 実態を把握して毎週、いじめ対策委員会と共有し、早期対応に当たる。 2-② SNS上でのいじめの防止と発生時の対応等を実施し、トラブルの未然防止に努める。 2-① 長期休業前に実施し、命の大切さを伝える。</p> <p>1-① 個に応じた授業参加や、体育祭・音楽祭等の行事での交流を適宜実施する。 2-② あらゆる活動で3年生リーダーとして活躍の場を創出し、1・2年の範とさせる。 2-① 校内委員会にてコア・リーダーが生徒の情報を確実に集約し、共有して対応する。 4-① 警察・児童相談所・子ども家庭支援センター・S・S Wとの連携を密にして対応に当たる。 3-① 各学年の担当が委員会の状況を報告し、校内委員会と協議して早期対応を行う。 4-① 1週間に1回程度は定期連絡を取り、生徒の笑顔に応じてサポートチームを活用する。</p> <p>1-① 4月に生活安全・交通安全・災害安全の3領域についての基礎知識の指導を行う。 2-② 地震・火災・不審者対応など、あらゆる想定の下で質の高い訓練を実施する。 2-① 元氣アッププログラムを活用し、体力の向上と健康を関連付けた授業を実施する。 3-① 感染症・怪我・熱中症など、教育活動下での危険拡大防止や事故防止の徹底を図る。 4-① アレキキ対応が必要な生徒を毎月活動し、絶対に事故を起こさないようにする。 5-① 栄養士の協力を得た食育指導を適宜実施する。</p> <p>1-① 「職業調べ」「職業講話」「職場訪問」など、3年間の系譜だった指導を実施する。 2-② 職業の成果を発表するにも、夢を描き、夢を語る会にし、地域・保護者に公開する。 3-③ 細やかな準備の準備・指導が行き届いた職場体験学習（2年生）を実施する。 2-① 上級学校の受入れ（像）に向け、便り等を用いた個やかな情報提供を行う。</p> <p>1-① 管理と自治を意識しつつ、生徒が主体的に取り組むようサポートする。 2-② 外部人材を活用し、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>1-① 学校行事や授業を公開し、日々の取組に基づき外部評価を学校経営に生かす。 2-② 学校ホームページ、学校だより、メッセー性のある内容を工夫して発信する。 3-③ 保護者会（4月）で学校ダイジェストを配布し、保護者との共有を図る。 2-④ 地域性を活かし、小学校だけでなく、昭和高校との交流をより行っていく。</p>
----------------	---	---